

第 7 回 通 常 総 会 記 録

日 時 昭和51年6月5日午後1時
場 所 富山市新総曲輪2番32号
昭 和 会 館 ホール

明るく健康で生きがいのある村づくりに資することを目的に医学的に調査研究をすすめております当研究会に対し、熱心なる会員の方々と関係諸機関のご援助によりまして着実にその成果をあげてまいっております。本年度の実績は会誌第8巻で発表いたしております。

本総会は106名の出席者と86通の委任状で定刻に開催し、議案審議もとどこおりなく進められ、最後に富山県農業水産部長の栗田年代氏の特別講演「富山県の農業」を拝聴し、無事終了いたしました。

議 事 の 概 要

- 会 員 総 数 230名 うち出席 103名 委任状86名
- 会 長 挨拶 豊 田 文 一
- 議 長 選 任 富山市民病院 長谷田 祐 作氏議長となる

○議事録署名者及び書記指名

議事録署名者 魚津市 友 岡 清 上市町 藤 繩 和 夫
書 記 石 倉 俊 宣 長谷川 登

○議 事

- 第1号議案 昭和50年度事業報告書、財産目録、収支決算承認について
事業の概況と主なる行事の報告に併せ、財産目録及び収支決算について報告承認を得た。
- 第2号議案 昭和51年度事業計画及び収支予算案承認について
昭和51年度の事業計画と収支予算案を説明し承認を得た。
- 第3号議案 役員の一部変更について
- 第4号議案 顧問の一部変更について
第3号議案、第4号議案一括審議し役員及び顧問の一部変更が承認され下記のとおり決定した。

(理 事)

	旧		新
富山県医務課長	武 脇 長 良	(転 任)	嘉 藤 友 作
富山県農協青年 組織協議会委員長	吉 田 勉	(退 任)	西 島 秀 勝
(顧 問)			
富山県町村会長	森 松 幸 作	(退 任)	荒 井 三 郎

特 別 講 演

富山県農業水産部長 栗 田 年 代 氏
演 題 (富山県の農業) 講演録1頁—9頁に掲載。

事業報告書

昭和50年4月1日～昭和51年3月31日

昭和50年度終了にあたりここに事業の概況ならびに決算関係諸表のご報告を申し上げます。

本年は前年度に引き続き本会に課せられた使命ののっとり本県における農山村の実態を医学的に調査研究を行ない健康な農山村を築くための努力をいたしてまいりました。

本年度は県下全域における糖尿病の疫学的調査を実施し、その第1年度基礎調査の状況、及びそれぞれの業績を会誌第7巻に掲載することができましたことを深く感謝申し上げます。

会員各位、及び関係機関のご協力とご理解によりまして第7年度も順調に事業を推進させていただき度くお願い申し上げます。

主なる行事

年月日	主なる行事		
50. 5. 27	第1回役員会	於 厚生連高岡病院会議室	第6回通常総会の件・総会附議事項の件
50. 6. 7	第6回通常総会	於 県農協会館5F大ホール	特別講演「農村の人達の健康を守るために」花田ミキ
50. 7. 7	第2回役員会	於 県農協会館5F小会議室	50年度事業計画実施について、前年度、貧血調査の総括
50. 7. 16	第1回専門委員会	於 県農協会館5F小会議室	糖尿病調査の実施具体案検討
50. 9. 5	糖尿検査の主旨徹底に関する件及び採尿材料の検討		
50. 9. 25	糖尿検査テストケースの実施打合せ、関係諸機関への協力依頼の件		
50. 10. 3	第3回役員会	於 県農協会館5F小会議室	アジア農村医学会出席報告、米粒中のカドミウム除去に関する件、糖尿病調査に関する件
50. 10. 30	第2回専門委員会	於 県農協会館5F小会議室	糖尿病検査テストケースの報告及び検討、陽性者の取扱いに関する件
50. 12. 10	第4回役員会	於 県農協会館5F小会議室	上半期会計報告、会誌編集の件、糖尿検査中間報告、総会準備、特別講演講師の件、日本農村医学会出席者の件、集団検診における尿中蛋白異常統計について、日本農村医学会久留米学会報告
51. 2. 26	第5回役員会	於 県農協会館5F小会議室	第7回総会準備について、会誌編集の件、尿糖検査中間報告(13,600名)、日本農村医学会出席者について(演題発表)
51. 2. 27	第1回編集委員会	於 県農協会館5F小会議室	会誌掲載原稿初校分担の件
51. 3. 30	第1年度糖尿病疫学調査終了(25,696名)		
51. 3. 31	第2回編集委員会	於 県農協会館5F小会議室	会誌掲載原稿、順位、校正、頁数の件

財産目録

昭和51年3月31日

内 訳	金 額	
預 金	44,119	
計	44,119	

富山県農村医学研究会

昭和50年度 収 支 決 算 書

自 昭和50年 4 月 1 日 ~ 至 昭和51年 3 月31日

項 目	子 算 額	3/31 実績	差 引 残 高
会 費 取 入	60,000	50,700	△ 9,300
会 費	60,000	50,700	△ 9,300
援 助 取 入	3,600,000	3,600,000	0
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
特 別 負 担 金	1,800,000	1,800,000	0
雑 取 入	49,893	37,709	△ 12,184
雑 取 入	49,893	37,709	△ 12,184
前 期 繰 越	50,107	50,107	0
取 入 計	3,760,000	3,738,516	△ 21,484
会 議 費	370,000	389,284	19,284
総 会 費	120,000	159,400	39,400
役 員 会 費	150,000	158,480	8,480
専 門 委 員 会 費	50,000	47,000	△ 3,000
編 集 委 員 会 費	50,000	24,404	△ 25,596
事 業 費	2,850,000	2,770,173	△ 79,827
研 究 調 査 費	2,000,000	1,852,832	△ 147,168
研 究 集 会 費	50,000	0	△ 50,000
雑 誌 発 行 費	750,000	891,400	141,400
通 信 費	20,000	24,741	4,741
消 耗 品 費	20,000	1,200	△ 18,800
備 品、什 器	10,000	0	△ 10,000
旅 費 交 通 費	200,000	200,240	240
旅 費 交 通 費	200,000	200,240	240
事 務 費	320,000	320,000	0
事 務 費	320,000	320,000	0
雑 費	10,000	9,700	△ 300
雑 費	10,000	9,700	△ 300
子 備 費	10,000	5,000	△ 5,000
子 備 費	10,000	5,000	△ 5,000
費 用 計	3,760,000	3,694,397	△ 65,603
次 期 繰 越		44,119	

昭和51年度事業計画

昭和51年4月1日～昭和52年3月31日

1. 職業性疾患の調査研究

潜在性疾患、農夫症、ビニールハウス病等の調査研究

2. 農業災害の調査研究

農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究

とくに騒音及び振動の影響調査

3. 健康管理についての調査研究

農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導

農山村民の健康管理の調査研究

農村婦人の成人病実態調査に関する研究

農山村民の糖尿病の実態調査に関する研究

4. 農村特有の疾患の調査研究

伝染病、風土病等多発性疾患の疫学についての調査研究

都市近郊農村の衛生学的研究

5. 農村における社会医学的問題の調査研究

出かせぎ等による経済的、社会的問題の調査研究

6. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

大気汚染、水質汚染等についての調査研究

7. その他目的達成に必要な事項

昭和51年度収支予算書

自 昭和51年4月1日 ～ 至 昭和52年3月31日

収 入 の 部			
項 目	子 算 額	内 容	
会 費 収 入	60,000		
会 費	60,000	会費 200人×300円	
援 助 収 入	3,870,000		
助 成 金	1,620,000	県費助成金	
特 別 負 担 金	2,250,000	農協各連負担金	
雑 収 入	29,881		
雑 収 入	29,881	預金利息その他	
前 期 繰 越	44,119		
合 計	4,004,000		

支 出 の 部			
項 目	子 算 額	内 容	
会 議 費	406,000		
総 会 費	150,000	会場借上料、資料代	
役 員 会 費	156,000	年12回会場借上料他13,000円×12回	
専 門 委 員 会 費	50,000	委員会開催費用	
編 集 委 員 会 費	50,000	雑誌編集委員会費用	
事 業 費	3,235,000		
研 究 調 査 費	1,615,000	研究調査費、学会参加旅費	
研 究 集 会 費	50,000	学会会場借上料、その他会場設備費、資料及び案内状印刷代、講師謝礼、集会雑費	
雑 誌 発 行 費	1,500,000	年1回 600部	
通 信 費	40,000	電話代、切手代他	
消 耗 備 品 費	20,000	事務用消耗品その他	
備 品、什 器	10,000		
旅 費 交 通 費	200,000		
旅 費 交 通 費	200,000	役員会旅費、専門委員会旅費	
事 務 費	150,000		
事 務 費	150,000	パート費用、印刷代その他	
雑 費	10,000		
雑 費	10,000		
予 備 費	3,000		
予 備 費	3,000		
合 計	4,004,000		

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村民の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データ収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

- 募 集 原 稿** 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。
- 投 稿 の 資 格** 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。
- 原 稿 の 送 り 先** 富山県農村医学研究会事務局宛（高岡市永楽町 5 番10号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなつかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostaglandin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 *Mocacus rhesus*, 山椒藻 *Salvinabatah* 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートル m、センチメートル cm、グラム g、キログラム kg 等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図書は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cm に製版しますから、その 2 倍か 3 倍に書いて下さい。）図書の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

- 文 献**
1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52. 5のごとく。）
 2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

人間らしさを取り戻すことは健康を樹立させる事であり、自らの権利として守らねばならないと、最近になってマスコミがうるさい程にとりあげる時代になって来た。健康というものの認識については、紀元前380年アテネの女神(ハイジャ)をギリシャ人が空想の中で創造した健康の守護神としてあがめられ、これが歴史的に一番古いとされている。西洋の健康観はヒポクラテスに始まり、精神的健康についてはプラトンが述べている。

富山県では、農村の健康を守る事業への努力が実際に行なわれる様になって既に30年以上たっていると豊田先生は述べておられる。

当研究会誌も年々数多くのきめ細かな論文が寄せられ、農村の健康を守ることへの努力と熱意がひとつひとつの論文から滲み出ている感を受けるのである。会員各位の並々ならぬ努力により、富山県農村医学研究会も年を追って飛躍しつつある感を深くするのである。

(北川 鉄人 記 52.3.)

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第8巻	昭和52年3月25日印刷・昭和52年3月31日発行
高岡市永楽町5番10号・富山県厚生連内	電 話 高岡 (0766) 21-3930
編集、発行所 富山県農村医学研究会	事務局長 岩 井 久 作
印刷所 菅野印刷興業株式会社	富山県黒部市三日市 電話(0765)54-0112
